



いまいは今
vol.237

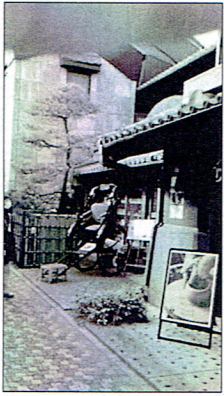
発行 今井町並み保存会
発行日 令和2年3月1日
電話 0744-22-1128
http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
◇ご意見・ご感想は
今井まちづくりセンターまで

第42回全国町並みゼミ川越 報告

保存会理事 中西 知

今回の全国町並みゼミ川越大会は、日程を短縮して2日間にして、開会式が2日目に行われるなど変則的な大会でした。初日の午後から6分科会に分かれて始まりました。集合場所及び分科会会場も6分科会毎に異なり、それぞれ異なるコースを川越の町をガイドの方が案内してくれました。

川越は、ランドマークの「時の鐘」と重厚な「蔵造りの町家」が有名で東京池袋から電車で30分の至近距離にあり、多くの



外国人観光客（外国人は台湾からが40%と最多）に人気のスポットで、飲食

店・おみやげもの店も多く、人力車が5台以上もあるとてもにぎやかな観光地です。一方、裏通りには、いまにも朽ち果てそうな廃屋もあり、観光地の光と影を目の当たりにしました。また、スカラ座という映画館が閉館になるのを防ごうと町の皆が支援していることも聞いて、町の文化を残す苦勞の一端を見させていただきました。第5分科会では、「魅力的な建造物を使いこなそうー歴史的建造物の魅力の引き出し方ー」というテーマで和歌山大学の



佐久間康富准教授のコーディネートのもとで、3人の30代〜40代の若い世代がパネリストを務めました。パネリストはそれぞれ福井県熊川宿、滋賀県長浜、埼玉県川越で活躍している方々でした。

パネリストの発表はテーマと異なり、人口減少が避けられない中で「若い担い手がどのような考えで町並み、まちづくりに対しているか」「個々の取り組みの成果をいかに地域全体の価値創造につなげて行くか」に絞った発表があり、町並み保存に尽力し、それなりの成果を上げられた町並み保存第一世代の方々に対するリスペクト（尊敬）を大切にし、第

二世代が町並みを活かした新たな町おこしに取り組んでいる事例の発表がありました。

二日目は、各ブロック会議開催のあと、閉会式・基調講演と続きました。

京都アメリカ大学

コンソーシアム今井町訪問

2月5日京都アメリカ大学コンソーシアムの学生が今井町を訪れました。京都アメリカ大学コンソーシアムは、事務局が同志社大学内にあり、海外の学生が日本への留学を通して日本の文化や歴史などを学ぶためのプログラムで、今井町では町歩き、書道体験を楽しんでくれました。



「今井町はタイムカプセルに覆われた、隠された場所のようだ」「教室ではできないほんまもん」の学びをさせていただきました。と感想を伺いました。後、今井まちなみ交流センター「華薈」の前で撮った記念写真が、学内のフォトコンテストで入賞したと嬉しい知らせもありました。今井町訪問が縁となり、会長の紹介で通訳の仕事につながっ

た学生も出るなど、今井町訪問が記憶に深く残る貴重な機会となったようです。

はならあと2019報告会、

2月15日(土)宇陀市松山地区の千軒舎で、はならあと2019の報告会がありました。柳生、今井、宇陀松山の各会場から、今年は地域性に合った展示が多くて良かったという報告がありました。

続いて、今回こあ会場となった宇陀松



山の旧芝居小屋「喜楽座」をプロデュースした渡辺瑞帆キュレーターと慶応大学大学院非常勤講師の徳永高志氏の対談がありました。

喜楽座は明治後期に地元の方が自分たちの町には文化が必要だということ、出資を募って建てられました。その後、映画館となり「喜楽館」として昭和40年頃まで存続しました。現在は、朽ち果てていますが、今回のはならあとで大掃除をした結果、文化施設として息を吹き返しつつあります。また「内子座」「永楽館」を例に出され、建物の改修

には何十億の費用がかかり行政の補助は絶対に必要とのことでした。

各地の失われた芝居小屋のお話を伺う中で、明治大正の芝居小屋から戦中は食糧の備蓄庫、戦後は映画館という変遷はかつて今井町にあった「感享座」も同じで、娯楽文化の歴史の一端を知ることができました。

最後に今回ははならあとサポーターとして参加した法政大学の学生4名が実習報告を行いました。

わたしとだれかがつながるDAY

2月22日(土)奈良の魅力を発信するプロジェクト、編集奈良の主催のイベント「わたしとだれかがつながるDAY」が今井まちや館で開催されました。

今回は「中南和を知ろう」をテーマに学生5名を含む約20名の方が参加されました。

まず県内の地域の発展やPRのために発行されている会員制季刊誌「やまとびと」の紹介がありました。桜井市の印刷会社を母体に『フリーペーパーやまとびと』を平成10年から刊行され、現在は長谷寺参道に古民家を改修したショップやガイドブックに載っていない奈良の旅をプロデュースする「やまとびとツアー」を運用されています。

次に檀原出身の方で一度、外で勤めて

Uターンしてこられた方が檀原市の住みやすさについて話をされました。

最後に大和高田市の職員の方がかつて隆盛した綿産業を現在の方にも知ってもらうべく、市民と一緒に色々なイベントを展開されているようです。

若い人たちからは奈良で働きたいという声が聞かれました。

パソコン購入しました

今井町並み保存会では、まちや館、華蔓、今井まちづくりセンターに募金箱を設置しております。

この度、皆様方から頂きました募金から、ノートパソコンを購入させていただきました。募金をいただいた皆様に感謝するとともに、保存活動推進のために大切に活用させていただきます。ありがとうございました。

今井往来

3月1日(日) 10時～15時

稱念寺 茶会「お水取り」

参加費 お一人様 千円

※前号で紹介した3月8日の防災フェスティバルをはじめ、3月中の計画行事は市からの要請を受けて新型コロナウィルスの感染予防のため中止します。